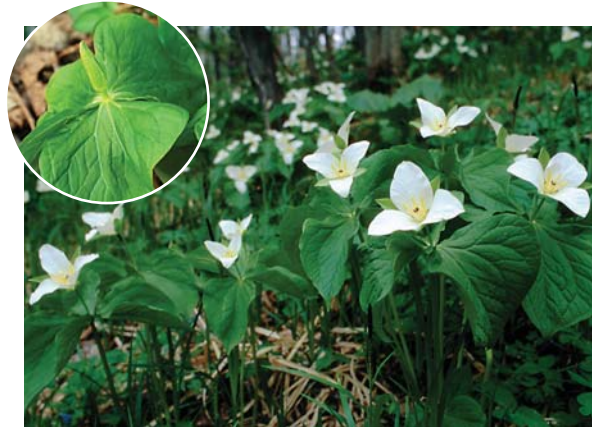


# オオバナノエンレイソウ

*Trillium kamtschaticum*

ユリ科



オオバナノエンレイソウ。円内はつぼみ

## 名前の由来

花が大きく、「延齡草」は、芽吹いてから花が咲くまで15年以上かかり、長生きしなければ花を見ることはできないという意味で名付けられた。漢字名：大花延齡草

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

草花  
(在来種)

草花  
(外来種)

哺乳類

鳥類  
(水辺)

鳥類  
(草原・樹林)  
ワシ・タカ

## 形態的特徴

高さ20～50cmになる。葉は大きく卵状菱形で柄（葉柄）は無く、茎頂に3枚が輪生する。花は白色で3枚の花びら（花弁）をもち、一輪の花が茎頂から伸びた花柄上に上向き

に咲く。花の中心部の雌しべをとりまく6本の雄しべは、葯の長さが12～15mmで、葯の下部につく柄（花糸）よりもはるかに長いのがこの種の特徴。

## 類似種と見分け方

ミヤマエンレイソウ。

ミヤマエンレイソウの花は横向きに咲き、雄しべの葯は短く、柄（花糸）とほぼ同じ長さ。また花は咲き終わりに微

紅色に変わるものもある。花以外はオオバナノエンレイソウと同様なので、開花期以外では見分けが難しい。



オオバナノエンレイソウ。花



オオバナノエンレイソウ。花は上向きにつく



類似種、ミヤマエンレイソウ。花



類似種、ミヤマエンレイソウ。花を横向きにつける

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期		■										
結実期			■									

## 生育環境・分布

広葉樹林の林の下で生育し、しばしば大群落となる。

**分布：**国外分布は、千島・樺太・朝鮮・中国東北部・ウズリー・カムチャツカ・シベリア東部。

国内分布は、北海道から本州北部。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、広葉樹林内に見られる。特にハルニレーヤチダモ林の林床に多く、しばしば大群落となる。

## 生活史

開花時期：5～6月

寿命：多年草。

開花までの年数：約15年

## 他生物との関わり

オオバナノエンレイソウのタネには、アリが好むエライオソームという甘いゼリー状のものがついている。アリはこのタネを巣に持ち帰り、巣の中でエライオソームを切り離してしまうと、タネは食べずに巣の外に捨てる。このようにオオバナノエンレイソウは、アリを利用してタネを遠くへ分散させているという。

## 興味深い話

■オオバナノエンレイソウは秋には地上部は枯れるが、地下にある根茎で生き残り、翌年新たな芽をのばして茎葉をつくる。このような生活を毎年繰り返し、何十年も生きることができる。

■地面に落ちて冬を越えた種子は、細い根だけを伸ばして葉を出さない。次の年には小さな1枚の葉と、根茎の始まりである小さなふくらみをつける。さらに3年目には前年より少し大きな葉をつけ、4年目、5年目と少しずつ大きな葉をつけるが1枚のみで、3枚の葉がそろるのは7～8年目、花をつけるのはさらに数年後になるという。

■一度花を咲かせて実をつけると、次の年から根に栄養が十分蓄えられるまで開花せず、葉の状態で過ごす。芽を分解すると、中にはさらに小さな芽が、その下にはもっと小さな芽が…というふうにならずに小さくしながら3～7個も芽がつまっていて、次の年から数年後の発芽にむけて何年もまえから芽を用意しているという。

■十勝地方のアイヌ語ではエンレイソウ類一般を「ケナソロマブ（木原にあるもの）」という。また別名「ココカオマブ（フキの葉の上になるもの）」ともいう。

■他地方のアイヌ語では、特に実をエマウリと呼ぶ。木に

## 配慮事項

生育している環境全体が重要である



オオバナノエンレイソウ。群生している様子



オオバナノエンレイソウの実

なるイチゴもエマウリと呼び、ともに「イチゴ」の感覚で見なしているが、特にエンレイソウ類の実の方をキナエマウリ（草・エマウリ、草イチゴ）と称する地方もある。さらに白い花をつけることからレタルキナエマウリ（白い・草エマウリ）とも呼ぶ。ちなみにエンレイソウ（種名）は暗紫色の花をつけることからクネネキナエマウリ（黒い・草エマウリ）と別称するという。

■エマウリ（イチゴ）の名の通り、実は甘いといい、熟して黒くなると食用にした。また、腹痛の際、乾燥した根を煎じて飲むと効果があるといわれていた。



エンレイソウ（種名）。赤黒い花をつける

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

（在来種）  
草花

（外来種）  
草花

哺乳類

（水辺）  
鳥類

（草原・樹林）  
鳥類  
ワシ・タカ

### 参考文献

「改訂版 牧野新日本植物図鑑」牧野富太郎 北隆館 1989

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本Ⅰ」佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1982

「アイヌ植物誌」福岡イト子 草風館 1995

「コラム 北国のエンレイソウ 週間朝日百科 植物の世界112」

鮫島惇一郎 朝日新聞社 1996

「トピックス オオバナノエンレイソウ Newton special issue 植物の世界 第一号」鮫島惇一郎 教育社 1988

「アイヌ語で自然かんさつ図鑑」帯広百年記念館（編）、内田祐一・池田亨嘉、帯広百年記念館友の会 2004